

2025年9月16日  
KHネオケム株式会社  
(証券コード 4189、東証プライム)

## KHネオケム、「Glyco-Core Symposium 2025」出展のお知らせ

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、2025年9月24日(水)~9月25日(木)に名古屋大学で開催される「第22回 Glyco-Core Symposium 2025<sup>\*1</sup>」に、株式会社糖鎖工学研究所と共同でブースを出展いたします。

本シンポジウムは、名古屋大学と岐阜大学が共同で設置した糖鎖生命コア研究所 iGCORE<sup>\*2</sup>が主催する国際的な学術集会です。国内外から糖鎖研究の最前線を牽引する研究者が一堂に会し、最新の研究成果や異分野との融合を通じて、糖鎖研究の新たな地平を切り拓くことを目的としています。

当社は、本シンポジウムへの参加を通じて得られる連携や国際的ネットワークを今後の研究開発に活かしてまいります。共同ブースでは糖鎖試薬 GlyMuch<sup>®</sup>や糖鎖を用いた創薬研究開発について紹介し、糖鎖研究の更なる発展と産業応用を推進します。

### <糖鎖について>

当社は、VISION2030<sup>\*3</sup>の実現に向けて、「環境」「ヘルスケア」「エレクトロニクス」を戦略ドメインと定め、新規事業の創出を目指しています。ヘルスケアドメインにおいては糖鎖の可能性に注目し、これまで独自の糖鎖及び製造技術を開発してきました。

糖鎖は、生体内においてタンパク質や脂質に結合し、細胞表面や細胞中に存在しています。これらの糖鎖は生体内で起こる様々な生命現象に関与していることから、核酸、タンパク質に並んで「第三の生命鎖」と呼ばれています。

また、糖鎖は結合している物質の機能や安定性に影響を及ぼすことが知られており、細胞表面に存在している糖鎖は、細胞の接着や分化など様々な生命現象にも関与していることから、糖鎖の異常によって引き起こされる病気や疾患も数多く存在しています。そのため、生命現象の解明や新薬の開発など、生命科学の分野において糖鎖の研究開発が盛んにおこなわれています。

一方、糖鎖は、その構造の多様性から人工合成が難しく、大量かつ安定供給が学術の更なる振興と産業利用において課題となっています。当社では、独自の糖鎖製造技術を開発し、さまざまな種類の糖鎖を大量かつ安定して供給することで、学術研究の振興と産業利用の加速を目指しています。

## 【出展概要】

イベント名	Glyco-Core Symposium 2025
主催	糖鎖生命コア研究所(iGCORE)
開催期間	2025年9月24日(水)~9月25日(木)
会場	名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂 <a href="https://www.nagoya-u.ac.jp/contact/directions.html">https://www.nagoya-u.ac.jp/contact/directions.html</a>
展示内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究用 N 型糖鎖試薬</li> <li>・糖鎖を用いた創薬研究開発</li> <li>・糖ペプチドの受託合成</li> <li>・糖鎖分析サービス など</li> </ul>
企業 URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社糖鎖工学研究所 <a href="https://www.glytech.jp/">https://www.glytech.jp/</a></li> <li>・KHネオケム株式会社 <a href="https://www.khneochem.co.jp/">https://www.khneochem.co.jp/</a></li> </ul>

### ■糖鎖について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/features/glycans/>

※1 「Glyco-Core Symposium 2025」について

<https://igcore.thers.ac.jp/symposium/2025/>

※2 糖鎖生命コア研究所 iGCORE について

<https://igcore.thers.ac.jp/>

※3 「VISION2030」について

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4189/ir-material-for-fiscal-ym/56482/00.pdf>

## 【KHネオケムについて】 ※2024年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010年12月(前身の協和油化は1966年11月設立)	
資本金	8,855百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結829名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料インキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948年	協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949年	協和発酵工業設立(現:協和キリン)

1966年	協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社)
2004年	協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足
2010年	協和発酵ケミカルの全株式の取得及び合併を目的として ケイジェイホールディングス設立
2011年	協和発酵ケミカルが協和発酵キリングroupから独立
	協和発酵ケミカルとケイジェイホールディングス合併
2012年	協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更
2016年	東京証券取引所市場第一部に上場
2019年	本社を現住所に移転 オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設
2022年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

**【本件についてのお問い合わせ先】**

◆一般の方からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 イノベーション戦略部  
TEL: 03(3510)3600

◆報道関係者からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 広報・IR部  
TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571  
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号  
<https://www.khneochem.co.jp/>